

認定こども園ふたば・中央小学校・西小学校

七夕交流会やお楽しみ会などで1年生や5年生と交流しています。園児と小学生との良い関係を築くとともに、小学校入学への期待感を高めています。園小合同研修会では、互いの取組や課題を理解し、スムーズに接続できるよう話し合っています。



園児と小学生の交流会



5年生と5歳児の交流



絵本の読み聞かせ

認定こども園あおがき・青垣小学校

園児と児童の交流では、5年生が考えたゲームで一緒に遊びました。何度か交流し、就学への期待も膨らんでいます。また、月に2回、認定こども園の先生が小学校の絵本の読み聞かせに参加したり、夏休みに園小の先生が研修で交流したりしています。



合同研修会

認定こども園と小学校のつながり

こどもの育ちと学びをつなぐために

丹波市内の認定こども園・小学校では、乳幼児期と児童期の育ちや学びを円滑に接続するために、様々な取組を行っています。園児と児童の交流では、遊びや行事等で触れ合うことにより、こども同士のつながりが生まれたり、小学校への親しみや安心感につながったりしています。また、教職員の交流も様々な形で行われており、園小の相互参観や合同研修会を通して、互いの教育について理解を深めています。日頃からの交流が気軽に話し合える関係づくりにもつながっています。園小が連携し、こどもの姿を語り合い、それぞれの地域で工夫し、よりよい接続に向けて今後も継続して取り組みます。



5年生と5歳児の交流

認定こども園あいきの丘・竹山小学校

5歳児が考えた「クリスマスバスケット」や5年生が考えた遊びなど、年2回「5・5交流」を行っています。互いに感想を伝えあうなど、つながりや触れ合いが深まる良い機会となっています。合同研修会では、兵庫教育大学から講師を招聘し、接続の取組をすすめています。



第3次丹波市教育振興基本計画を策定しました

丹波市教育委員会広報

教育たんば 3月号

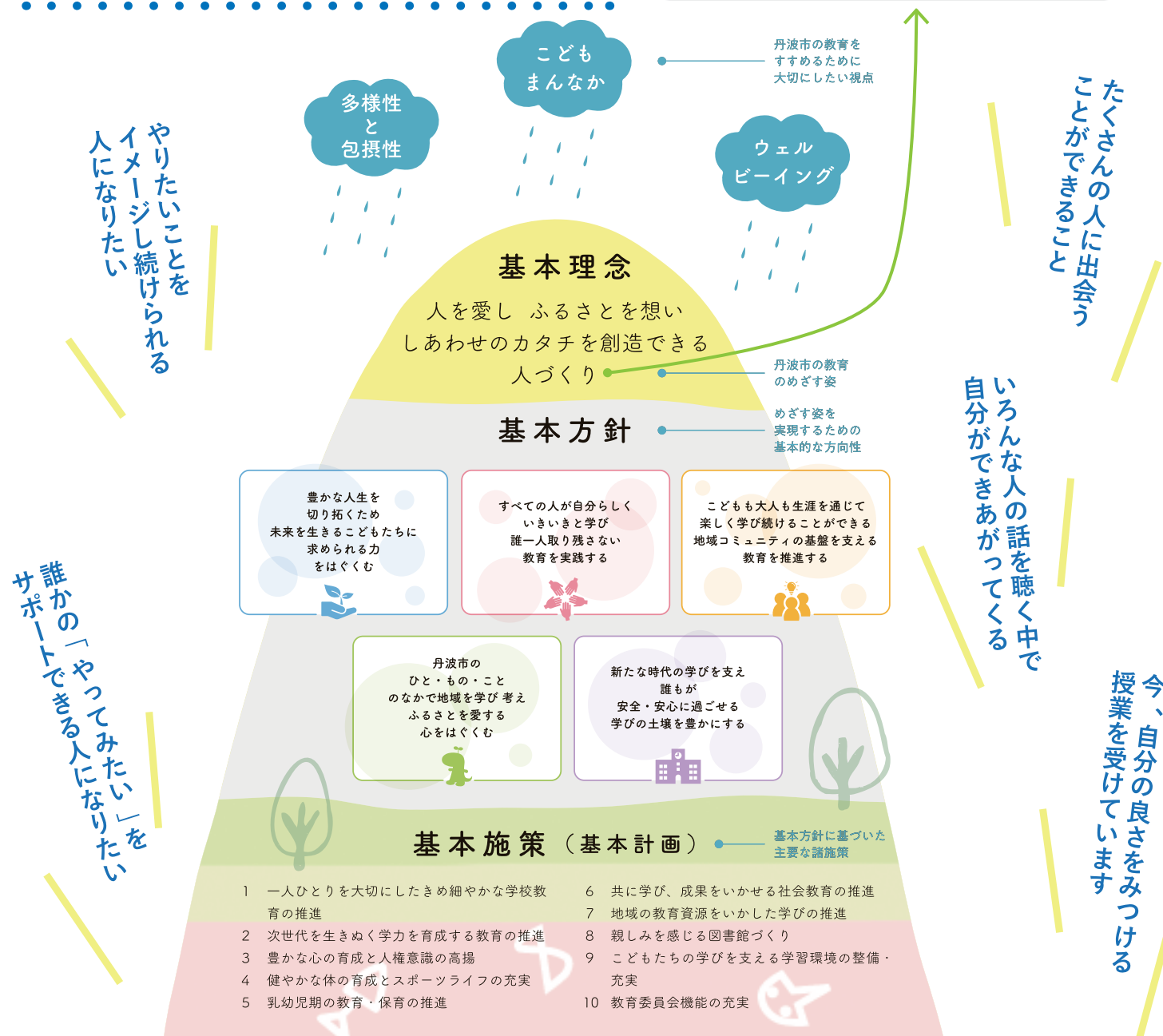
令和7年4月1日～令和12年3月31日の5年間の計画期間として、丹波市の教育の振興のための計画を策定しました。策定にあたっては、15人の審議員の方々とは、令和5年度から13回にわたる審議会を行うとともに、アンケート調査やヒアリング調査、ワークショップなどを行い、こどもから大人までたくさんのみなさまのご意見をいただきました。一人ひとりの想いに寄り添い、すべての人がしあわせになれる丹波市の教育をめざします。

ワークショップでは、基本理念の「人を愛し ふるさとを思い しあわせのカタチを創造できる 人づくり」に込められた想いを自分の身近なことに当てはめながら、意見交換しました。「自分の身近にいるのはどんな人?」、「ふるさとにはどんなイメージを持っている?」、「どんなことをしているときにしあわせ?」など、それぞれの意見を共有した中から、「人づくり」についての意見を一部紹介します。

あなたの考える『人づくり』とは？

人づくりってどういうこと？

どんな大人になりたい？



第3次丹波市教育振興基本計画の詳細については、こちらの二次元コードからアクセスしてください。

編集・発行／丹波市教育委員会事務局
〒669-3198 兵庫県丹波市山南町谷川1110番地
TEL.0795-70-0810（代）

3つの大切にしたいこと

多様性と包摂性

分けるのではなく混ざりあった多様な社会の中で、自分を知り、自分を大切にすること、また、他者を知り、他者を思いやることが大切です。

こどもまんなか

こどもの声をまんなか、こどもや子育て中の方々をみんなで応援していきます。

ウェルビーイング

ウェルビーイングが実現される社会は、こどもから大人まで一人ひとりが担い手となって創っていくものです。楽しく学び、ともに考え、すべての人が幸せになれる丹波市の教育をめざします。

丹波市の教育をすすめるにあたり、大切にしたいことが3つあります。3つの視点が降り注ぎ、基本理念・基本方針・基本施策へと循環するよう、丹波市の教育をすすめていきます。

裏面に詳しく紹介しています！

令和7年度 丹波市の教育 重点施策

令和7年度は、第3次丹波市教育振興基本計画がスタートする最初の1年です。

「こどもまんなか」「ウェルビーイング」「多様性と包摂性」の3つを大切にし、「人を愛し ふるさとを想い しあわせのカタチを創造できる 人づくり」の基本理念に沿い、次の10項目に重点的に取り組んでいきます。

1 丹波市立教育支援センター「レインボー」の充実

丹波市立教育支援センターに医師・作業療法士・言語聴覚士を新規配置、臨床心理士・指導主事の増員を行い特別支援教育の更なる充実を図るとともに、学生サポーターの活躍機会を拡充し、不登校児童生徒の支援を充実させます。

2 第2期GIGAスクール構想の実施

個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を推進するとともに、情報活用能力をさらに育成するため、第2期GIGAスクール構想の一環として、児童生徒用の端末を更新し、新たな学びを創造します。

3 部活動の地域展開の推進

将来にわたって中学生が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、中学校教員の負担軽減を図るため、部活動指導員を増員するとともに、地域展開の受け皿となる団体との調整や地域クラブ大会参加費等の援助により、部活動の地域展開を推進します。

4 乳幼児期の教育・保育の推進

組織再編により認定こども園係と幼児教育係を統合し、包括的に認定こども園を支援します。各種研修を充実させ、保育の質の向上を図るとともに園小のより一層の連携を進め、こどもの育ちの円滑な接続を図ります。

5 地域学校協働活動の推進

地域住民や学校関係者による懇談会を地域ごとに開催し、取り組むべき方向性を共有するとともに、お互いに学びあい、つながりあう、学校（学び）を核とした人づくり、地域づくりに取り組みます。

6 地域の教育資源をいかした学びの推進

「地質」と「化石」を活用した学習施設の拡充により展示内容の充実を図り、令和7年7月丹波電化石工房を「(仮称) 丹波市立たんば恐竜博物館」としてリニューアルオープンします。

7 親しみを感じる図書館づくり

本年度策定の丹波市立図書館ビジョンを基底に据えた「(仮) 丹波市立図書館基本計画（丹波市子ども読書活動推進計画）」を市民参画により策定します。

8 市内すべての県立高等学校における高校魅力化支援事業の実施

令和5年度から1校ずつ実施してきた市内の高等学校のさらなる魅力化について、市内3校すべてで実施し、地域への愛着・誇りをはぐくみます。

9 学校給食の無償化

給食の質を維持し食の安全を確保しつつ、中学校生徒全員の学校給食費を無償化します。併せて、経済的理由により就学に援助が必要な世帯の小学校児童の学校給食費についても無償化します。

10 こどもたちの学びを支える環境の整備・充実

中学校体育館等の空調設備の設置、小学校特別教室の空調設備設置実施設計に着手し教育に最適な環境の実現を図ります。また、こども提案による学校図書館づくりを各学校で展開します。

